

募 集 要 項

氏 名： 赤岡 広周	学 科：マネジメント学科
専 攻 分 野： 経営管理	研究室：第 1 研究室棟 820 号
演習テーマ： 経営管理（チーム運営、リーダーシップ、プロジェクト管理）	E-mail：f2226@cc.kyoto-su.ac.jp

演習内容・主なテキスト

【重点ポイント(1)】チーム運営、リーダーシップ、プロジェクト管理の3つの能力

就職後、多くの仕事はチームワークです。在学中の部活などもチームワークです。役割分担や、とりまとめを考えたり、後輩/部下の成長につながるような「教え方」を工夫したり、後輩/部下のモチベーションを上げる工夫を考える必要があります。

3つの能力を向上させるためには本を読めばよいというものでもなく、実際にチームワークをいろいろ経験蓄積する必要があります。

上記3つの能力の向上のため、本ゼミでは各種グループワークを行います。（詳細は下記）

【重点ポイント(2)】新しい取組をすることで、新しい知識・能力を蓄積すること

新しいことに取り組むと、初めての知識が増えます。また初めての「気づき」があります。問題に直面すれば、解決策をいろいろ考えます。これを通じ、自身の成長が得られます。

（取り組み例）ドーナツの商品開発をスタートした

→◆食品の場合、資格や保健所の許可が必要。学生グループがこれを乗り越えるためにはどうすればよい？

◆試作は必要。しかし旬の食材を材料とする場合、試行錯誤のうちに旬が終わる。開発スケジュールをどう組めばよい？ etc

なお本ゼミでは、学生自身で取り組むテーマを決めます。「自身で課題を決める」とは、いろいろ調べ「現実的に可能か?」「メンバーのモチベーションは続くか?」など考えることを意味します。これもまた、勉強になります。

<演習1・2>

- (1) 各メンバーの「やってみたいこと」から、3テーマ程度をゼミとして採択します。毎年、学生自身が「やってみたいこと」を考え提案するため、毎年、テーマはいろいろです。近年の具体的なテーマ例は下記参照。
- (2) 各自、採択されたテーマのなかから1つ以上を選び、チームを作って着手します。教室では報告・議論を行っています。これにより、チーム運営、プロジェクト管理、プレゼンテーション能力の向上を目指します。
- (3) さらに、議論を交通整理する司会も、学生が行います。オリジナルの「司会マニュアル」を作成しており、まとめるテクニック、意見が途切れた時のテクニックなど向上を目指します。

<演習3・4>

必要に応じ、演習1・2のプロジェクトを継続する。

また、就活を間近に控え、業界研究、および時事問題の研究を全員で行っている。

各自、関心のある業界、企業、ニュース等の一つを選び、まとめのプレゼンテーションと議論を行っている。これにより、様々な業界および時事問題に対する理解を深めている。

◆本年度行ったもの

【御蔭橋商店街活性化プロジェクト チーム】

ゼミ生発案によるプロジェクト。御蔭橋商店街は京産大近隣ながらも、通学途中にただ通過するだけの学生も少なくない。また、御蔭橋商店街は上賀茂神社直近であるものの、バス停などと微妙に離れており、観光客の入れ込みも限定される。そこで若者および観光客への訴求を念頭に、御蔭橋商店街のガイドマップ制作を行った。活動の過程では、商店街組合との交流が生じる。ガイドマップ制作のための各店舗への取材だけでなく、商店街のイベント参加（みそのぼしフェスティバル、こども食堂）など、商店街の皆さんと各種活動を行うことになった。京都中央信用金庫や上賀茂神社とも交流が生まれた。

ところで、ガイドマップの印刷には費用がかかる。この資金調達は、「大学コンソーシアム京都」が実施する「学まちコラボ事業」に応募、プレゼン審査・書類審査に合格し助成金を獲得して実現した。助成金獲得のためのコツを学習することにもつながった。



【ヘルプマークの認知度向上プロジェクト チーム】

こちらもゼミ生発案によるプロジェクト。ヘルプマークをはじめ、認知度が低かったり、認知されていても意味が正確に理解されていないサイン類は多い。このチームでは、ヘルプマークの認知度向上と正確な意味の周知を図ることを目的として、どのような活動を行えばよいか、検討した。検討の課程では、情報収集のため京都府庁の担当部署へのインタビューを行ったり、北区福祉協議会が主催する福祉まつりへのボランティア参加（参加することを通じて、他のイベント参加者との情報交換・人的交流ができる）などを行った。これらの情報収集・人的交流を踏まえて、紫野障害者授産所とのコラボによるコラボカフェを開催した。コラボカフェでは、紫野障害者授産所で製造するスイーツを取扱い品目とした。これにより、ヘルプマークのPRだけでなく、紫野障害者授産所の活動のPRにも貢献することができた。



<演習5・6>

各自で決めたテーマに沿って卒論作成を行う。文献調査、実地調査（アンケート調査、インタビューなど）と、論文作成を行う。なお赤岡ゼミでは調査、分析などの経験を積むことに主眼を置いているため、テーマ設定は各自の関心に応じて自由としている。この1～2年の卒業生の卒論テーマは下記のとおり。

1. 近年のポップアップ・ストア 注目される背景にあるものとは
2. サブスクリプションの現在と車のサブスク KINTO について
3. コロナ禍における飲食業界
4. 韓国で活躍する日本人アイドルへの差別と無知
5. 大学広告と入学者数の変化
6. 日本の郵便システムにおいて展開されているサービスの変化と考えられる今後の課題
7. 貯蓄から投資への移行が推進される理由と必要性について一私たちに与える影響とは
8. ラグビーを日本で浸透させるために

履修希望科目

特に指定はありません。

教員の自己紹介

すぐ下の「ゼミ生からの紹介」欄で、人物についてゼミ生が書いているので、そちらも参照ください。授業では、「学生から見て興味を感じられるか?」「何かを得たと学生が実感できそうか?」という観点を基本としています。

ゼミ生からの紹介 ※歴代ゼミ長より

◆みなさんこんにちは。赤岡ゼミ 7 期生です。赤岡ゼミの特徴は 3 つあります。1 つ目に学生が主体となって動く活動が多いことです。プロジェクトを自分たちで提案して 1 から作り上げ、その過程に必要な資金や人脈も自分たちで試行錯誤しながら獲得し、プロジェクトを進めていきます。勿論、自分たちの行動に責任が伴うこともあり大変なこともありますが、行き詰まった場面では必ず先生が助言等教導して下さいますので心配する必要はありません！

2 つ目に部活動やサークル等、ゼミ以外の活動にも力を入れている人が多い事が特徴です。活動をしていない人が、ゼミ以外の活動で忙しい人と助け合い、両立させる事が出来ます。ゼミ生同士が相手のために動く損得ではなく、他に尊意を持ち敬意をはらえる人が多いことそれが、赤岡ゼミの強みであり魅力です。負担なく大学生活を充実させる事が出来ます！

3 つ目にゼミ生同士仲が良く、明るく活発な人が多いので毎時間を楽しく過ごすことが出来ています！自分たちのやりたい事が実現でき、正しく導いてくれる赤岡先生のゼミは、凄く魅力的なゼミなので、皆さんのご応募心よりお待ちしております！^_^

◆みなさんこんにちは。赤岡ゼミ 6 期生ゼミ長の明石莉奈です。このゼミの特徴は 2 つあります。1 つ目は GD やプロジェクトを学生主体で行っていきます。その為自分の意志次第で有意義な時間を作ることができ、主体性を大切にしています。また、プロジェクトを進めるのに悩んだ時は的確なサポートをして下さる赤岡先生、先輩がいるので大丈夫です！

2 つ目はゼミ生の仲の良さです。BBQ やご飯会を開催したりと仲の良さはどのゼミにも負けません！みなさんも楽しく有意義な大学生活を過ごしませんか？心からお待ちしています！

◆こんにちは、赤岡ゼミ 5 期生の下田代輝紀です。私たちのゼミでは「主体性を育てる」を軸に学生主体で楽しく学んでいます。やりたい事を実現できるのもこのゼミの特徴の一つです。

赤岡先生は学生の目線に合わせた的確なアドバイスを示してくれるため、いつもゼミ内は活気ある学びの場となっています。ぜひ赤岡ゼミへの志望をお待ちしております。

◆赤岡ゼミ 4 期生

僕達赤岡ゼミは、他のゼミに比べて突き詰めるトピックや研究が生徒主体となっています。個々の自主性や創造力はもちろんのこと、自分たちで決めた研究で成果を上げることはとても大きな学生キャリアの形成にもつながり、将来なるであろう管理職としての問題解決能力の育成にもなります。

的確なアドバイスや説明をいただける先生や、意識を高く持っている仲間恵まれた環境で研究に打ち込んでみませんか？

◆赤岡ゼミ 3 期生 咲産華 13 代目代表

赤岡ゼミ生は運動部やサークルに所属している人が多いのが特徴です。もちろんそのような課外活動に所属していない人もいますが、ほとんどがバイトや部活動・サークル活動とゼミとの両立を確立させています。自分が大学生活の中で打ち込んでいるものに対して先

生や周りのゼミ生全員で敬いながら応援し合い、ゼミ生同士で切磋琢磨することのできる優しいゼミです。特に赤岡先生は自身のゼミ生の部活動やサークル活動の大会などに顔を出されるなど、ゼミ生のゼミ外の活動を熱く応援して下さる素敵なお方です。赤岡ゼミのゼミ活動は、今自分が頑張っているものに加え、自らの大学生活により良く充実させるものだと感じます。

また、ゼミの演習テーマにモチベーション理論、コーチング論、リーダーシップ論とありますが、これらは先生が指定する教科書に沿ってそれぞれ理論について勉強するといったものではなく、自分たちでテーマを決め、研究内容やその過程から研究発表の形まで自分たちで作成していく活動が主になっています。先生の心強いアドバイスをお借りしながら自分たちで考えて行動する中で赤岡ゼミの演習テーマの内容は自然と、時に意識しながら活動をすることで身に付いていきます。机の上の堅苦しい勉強だけでなくゼミ生同士のディスカッションなどが多いのが魅力的なゼミです。

そして授業内での活動だけでなく、神山祭や合宿などの活動も盛んです。授業内以外の活動を積極的に行なっているからこそゼミ生一人一人の活躍の場が必ず与えられ、ゼミ生同士との楽しい思い出も増えます。

そして、赤岡ゼミはまだ歴史が浅いことから、自分たちで新しいことに沢山チャレンジできることも魅力のひとつです。ゼミというイメージや括りに縛られることなく、「大学生活でこんなことがしたい」「今の大学生活をより良いものにしたい」という願いを大いに叶えられる場所が赤岡ゼミです。自分の思いを全力で熱く応援してくれる先生がいます。支えてくれる先輩もいます。赤岡ゼミは暖かく楽しく頑張れるアットホームなゼミです。自信を持って赤岡ゼミをお勧めします。

まずはゼミフェアやオープンゼミで赤岡ゼミの雰囲気を感じてください。心からお待ちしております！

教員からの要望

- ◆ 可能な限りオープンゼミ参加やゼミ活動動画の視聴等を行い、当ゼミの活動内容やカラーなどが皆さん自身に適したものか評価のうえ、ゼミ選びを行ってください。
- ◆ だらだら過ごしている人よりも、何かに一生懸命な人や、または、一生懸命を目指している人が評価されます。部活動など、今すでに何か一生懸命取り組んでいるものがある方は、その取り組みについては尊重しますが、自身をいろいろな面で成長させるために、ゼミ活動にもしっかり取り組もうという意思を求めます。
- ◆ ゼミには20数人が所属し、上で述べたようにグループ活動を通じて自分を上げていこうと取り組んでいます。このようなグループ活動ができる方を望みます。
- ◆ 学生自身で物事を決め、情報を収集し、問題への対応を考えることを重視しています。1から10まで教員が指示すれば、プロジェクトは早く進むでしょうが、人から言われてやることは自分の頭で考えていないため、身につかないからです。もちろん、相談があればアドバイスします。ゼミは週1コマですが、それ以外の曜日や、夏休み中にも、必要に応じて学生側から私まで、話を持ち掛けることが望ましい。
- ◆ 原則として、毎回の出席が必要です。成績評価は、ゼミでの活動状況により行います。

応募と選考について ※重要※

- (1) 選考は、申込書内容、面接、成績の総合評価により行います。このうち、申込書内容と面接を重視します。成績については、GPA順の合否判定は行いませんが「4年間で卒業可能と思われる成績状況か否か」については合否判定基準としています。
- (2) 選考では面接を行うことがあります。面接日時は、11/25(月)～11/30(土)の間で志願者ごとに指定します。各自の面接日時および注意事項は、後日Moodleの「演習2」

項目に掲載しますので確認してください。連絡のため、11/20(水)～11/30(土)の間、志願者から Moodle の「演習 2」項目が利用できるようにします。12/1(日)以降は、可否に関わらず利用できません。

- (3) 「選考要項」に記載された面接期間のなかで、授業または大学の課外活動等と重なる時間帯がある場合、下記の例により「面接に來れない時間割と理由」を入力フォームの「その他」欄に明記のこと。面接時間の発表後は、事情やむを得ない場合を除き、面接時間の変更はできません。無断での面接の遅刻・欠席は減点です。十分の余裕をもって行動のこと。

《記入例》

NG 時間帯

25(月) 1,2,4,5 限 (授業)

26(火) 2,3,4 限 (授業)、5 限 (部活)

28(木) 2,3,4 限 (授業)

29(金) 3,4 限 (授業)、5 限 (部活)

- (4) ゼミ生一同、選考を公平・公正に行うことを徹底し合っています。協力下さい。
- (5) **【編転入・転学部の方へ】【2 次募集以降の方へ】** 11 月に行われる 1 次募集で定員満杯に近づいた場合、以降の募集枠は極めてわずかとなり、出願者の競争倍率がシビアとなることがあります。第 1 希望、第 2 希望ともに不合格となる事態を防ぐため、その場合は事前に確認の問い合わせをしてください。(問い合わせ先：本紙冒頭)